



7月28日(木)から旧金子家住宅を一般公開

甦るあきたの町家

伝統的な町家建築の姿を残す大町の旧金子家住宅。平成九年に秋田市指定文化財に指定されたこの貴重な建物の修復が完了し、七月二十八日(木)から一般公開が始まります。



当時の店先での会話が聞こえてきそうです



土蔵の中

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分
- 観覧料 (予定) 100円(民俗芸能伝承館の観覧もできます)
- 貸出料 (予定) 和室(8畳2室)、土蔵ともに1,030円(午前と午後の区分)

大物：綿、麻の織物

江戸時代後期の建築美

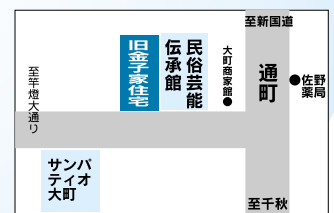
金子家は、江戸時代後期に質屋・古着屋を開いたといわれ、明治四年には、呉服・太物(ふともの)卸商「金子商店」を創業しました。家の中にある内蔵形式の土蔵は江戸時代後期、現在の主屋は明治二十年(ころ)にできました。防火用の「天水甕」や玄関から土蔵まで続く「通り土間」などが特徴で、昭和十年(十一年)に来秋

したドイツの建築家 ブルノ・タウトが著書の中で、金子家の「天水甕」を世界に紹介しています。昭和五十七年まで商売が営まれた旧金子家。今では現代的な建物が並ぶ大町の通りの中にあつて、昔ながらのそのたたずまいは、なんだかほっとさせられるものがあります。

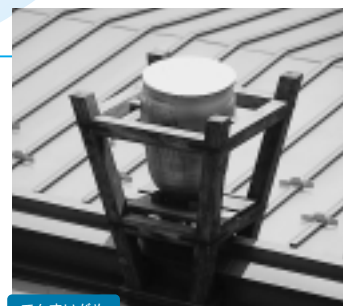
和室と土蔵を貸し出し

旧金子家では、住宅内を見学できるほか、和室(八畳二室)と土蔵を貸し出します。趣味の教室や展示会などにご利用ください。詳しくは民俗芸能伝承館へお問い合わせください。

一般公開は、七月二十八日(木)午前十一時から。また、オープニング記念として、「鏝絵展」を八月二十一日(日)まで開催します。なお、「鏝絵展」開催中は、旧金子家住宅の観覧が無料となります。この機会にぜひご覧ください。



問い合わせ 民俗芸能伝承館 tel(866)7091



天水甕

屋上に置かれた防火用の水入れ。民俗学的にも貴重です。

旧金子家の魅力

旧金子家では、伝統的な町家建築をはじめ、実際に使われていた品々をご覧いただけます。

道中着

明治初期に使われていた旅行用の衣服。創業した初代・金子文蔵がこの道中着を着て大坂へ仕入れに行ったといわれます。



鏝絵

鏝絵は、漆喰を塗り重ねて作った絵や模様のこと。土蔵の入口上にある火止めのための唐草模様と金子家の家紋も、今回修復されたものです。



受賞者のみなさんと松葉谷助役

環境活動に活発な 団体・個人を表彰

秋田市環境活動推進協議会では、積極的に環境活動に取り組んでいる次の団体と個人を表彰しました。

受賞団体および個人

- 集団回収部門▶ 将軍野東一丁目町内会
- ボランティア清掃部門▶ 旭川小学校PTA
- その他活動部門(環境学習の推進)▶ イオンの森ジャスコ御所野店こどもエコクラブ
- 個人活動部門▶ 越後谷一郎さん

市環境活動推進協議会では、市と協働で環境問題に取り組んでいただける会員(個人・市民団体・事業者)を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ

秋田市環境活動推進協議会事務局
tel(863)6632(環境企画課内)



センターの利用申込は、使用日の1か月前から。受け付けは8月1日から開始します。

保戸野コミセンtel(824)4701

開館時間 午前9時～午後9時

休館日 8月13日と
12月29日～1月3日

保戸野コミセン完成!

8月1日(月)
オープン予定

管理は地域に おまかせ!

新たな地域活動の拠点が保戸野地区に完成!

八月一日(月)、保戸野中町の旧秋田消防署保戸野出張所跡地に、保戸野地区コミュニティセンターがオープンの予定です。

館内には、スポーツ活動ができる多目的ホール、会議室二室、和室二室、調理室などを設置。また、この特徴として「健康相談」の日を設けたり、パソコンの使い方を気軽に相談できる「パソコン懇話会」を開いたりする予定もあります。

保戸野コミセンは旭北コミセンと同様、施設の管理運営を市



スギッチも大満足!

スギッチ号でGO!

6月30日、ピカピカのスギッチ号2台がお披露目されました。

秋田県自動車販売店協会から、秋田わか杉国体秋田市実行委員会へ企業協賛として無償貸与されたもので、車体にはかわいいスギッチがプリントされています。

スギッチ号が市内を駆けめぐり、秋田わか杉国体のPRにどんどん加速がつかますね!



みんなの協力で、 みんなの コミセンに

保戸野地区町内会連合会事務局長
小笠原金雄さん

保戸野コミセンのオープンは、地域の長年の願いでした。医師による「健康相談」や、パソコンに精通している人がサポートする「パソコン懇話会」など、ここ独自の事業ができるのも、地域のみなさんの協力があったこそ。

コミセンが、健康づくりやコミュニケーションをはかる場として、大いに利用されることを期待します。

そのためにはどうしたらいいか、コミセンがオープンしてからもみんなで考えていこうと思っています。

が行うのではなく、地域のみなさんにお願する「市民協働型コミセン」としてスタートします。オープニング式典は、七月三十日(土)、午前十一時から。交流の輪が広がる待望のコミセンオープンで、地域の絆がいつそう深まりそうですね。



多目的ホールは、バレー、卓球など、各種スポーツ活動に利用できます